

政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	48.9	51.5	
評価	(状況) 平成31年度は51.5%で、平成30年度より2.6ポイント、後期基準値より7.8ポイント増加しており、順調です。 (原因) 学校・家庭・地域が連携して学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業等の協働教育に取り組んでおり、継続的な活動が浸透してきたことが要因と考えられます。								(向上)
					目標達成度 ■■■ (高)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成
基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり
基本事業 03 家庭教育力の向上
基本事業 04 青少年の健全育成

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成31年度も10校で、市内小中学校全てにおいて事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校・家庭・地域の連携した様々な取組により、子どもたちの教育環境の充実が図られ、また地域においても子ども達の成長に喜びを感じており、相互間での良好な関係が継続的な事業の実施に繋がっている要因と考えられます。</p>									
					目 標 達 成 度	☀ (達成)				

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	87	86	55	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成31年度は86件で、平成30年度より1件減少していますが、後期基準値より50件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また、取り組んだ事業を評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有することで新たな取組に繋がっていることが要因と考えられます。</p>									
					目 標 達 成 度	☀ (達成)				

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	9,386	8,267	7,800	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成31年度は8,267人で、平成30年度より1,119人減少しましたが、後期基準値より3,742人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校支援地域本部、放課後子ども教室推進事業がともに定着してきたことが、主な要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間、事業を中止したことが主な要因です。</p>									
					目 標 達 成 度	☀ (達成)				

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	52.4	48.5	➔	☀ (向上)
評価	<p>小学生の子どもを持つ保護者が対象</p> <p>(状況) 平成31年度は48.5%で、平成30年度より3.9ポイント減少していますが、後期基準値より9.1ポイント増加しており、順調です。 (原因) 地域ボランティアの協力により放課後子ども教室は継続的な取組ができており、子ども達の安全な居場所として広く認知されていることが要因と考えられます。</p>									
					目 標 達 成 度	☀ (高)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標 ①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	84.4	86.1	→	
評価	全国学力・学習状況調査による指標です。									目標達成度 (高)
	(状況) 平成31年度は86.1%で、平成30年度より1.7ポイント、後期基準値より1.3ポイント増加しており、順調です。 (原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てや食育に関する講座・研修会を開催することで、家庭における生活環境が重要であると再認識されていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。									指標の うごき (横ばい)

基本事業04 青少年の健全育成

指標 ①	青少年育成活動事業の延べ参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,427	3,813	3,430	
評価	(状況) 平成31年度は3,813人で、平成29年度より614人減少しましたが、後期基準値より1,050人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度から全小学校で放課後子ども教室を実施していることが、参加者数が大きく増加している要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間、同教室を中止したことが主な要因です。									目標達成度 (達成)
										指標の うごき (向上)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
	教育総務課			%	88.7	91.4	92.3	→	☀ (向上)
	教育活動状況調査の結果								
評価	(状況) 平成31年度は92.3%で、平成30年度より0.9ポイント、後期基準値よりも3.6ポイント増加しており、順調です。 (原因) 学校に行きたいと思う児童の割合が4年生で下がり、6年生で上がる傾向があります。仲の良い友達がいる割合は2、4、6年生でほぼ98%ですが、勉強が楽しいと思う割合は高学年ほど低下しています。仲の良い友達の存在が、学校が楽しいと思う、大きな要因と考えられます。								目標 達成度
指標 ②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
	教育総務課			%	72.7	76.2	81	→	☀ (向上)
	教育活動状況調査の結果								
評価	(状況) 平成31年度は81.0%で、平成30年度より4.8ポイント、後期基準値よりも8.3ポイント増加しており、順調です。 (原因) 勉強が楽しいと思う割合は68.7%であるものの、仲の良い友達がいる割合が98.4%と高水準となっており、仲の良い友達の存在が、学校が楽しいと思う、大きな要因と考えられます。								目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進

基本事業 02 教育の質の向上

基本事業 03 健康づくりと食育の充実

基本事業 04 教育相談体制の充実

基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備

基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	708	989	986	720
評価	(状況)平成31年度は986時数/年で、平成30年度よりも3時数/年減少しましたが、後期基準値よりも278時数/年増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因)地域の人材や素材を活用しながら、地域と連携した学習を積極的に取り入れ、推進したことが要因の1つです。				(時数/年) 				目標達成度
					(達成)				

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	時数/年	136	185	196	150
評価	(状況)平成31年度は196時数/年で、平成30年度より11時数/年増加しており、後期基準値よりも60時数/年増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因)職場体験学習など地域に密着した学習を確保したことが要因の1つです。				(時数/年) 				目標達成度
					(達成)				

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合 (小学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	86.6	92.5	90.3	→
評価	(状況)平成31年度は90.3%で、平成30年度より2.2ポイント減少しましたが、後期基準値より3.7ポイント増加しており、順調です。 (原因)2年生92.9%、4年生89.1%、6年生88.6%と、学年が高くなると授業がわかると答えた率が低下する傾向ですが、全学年で高い水準で推移しています。各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送ることができる環境づくりの持続的な取組などが、要因と考えられます。				(%) 				目標達成度
					(達成)				

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合 (中学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	66.8	75.6	80.7	→
評価	(状況)平成31年度は80.7%で、平成30年度より5.1ポイント、後期基準値より13.9%増加しており、順調です。 (原因)各学校の授業内容の充実と共に、規則的な生活や落ち着いた学校生活を送ることのできる環境づくりの持続的な取組などが要因と考えられます。				(%) 				目標達成度
					(達成)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的生活習慣を身につけている児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	86.1	86.9	87.1	➔	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい) 目標達成度 (高)
	(状況) 平成31年度は87.1%で、平成30年度より0.2ポイント、後期基準値より1.0ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 基本的生活習慣を身につけている児童の割合は年々上昇していますが、朝食を食べる割合が少しずつ増加していることが要因です。									

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	83.4	81.9	81.7	➔	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい) 目標達成度 (低)
	(状況) 平成31年度は81.7%で、平成30年度より0.2ポイント、後期基準値より1.7ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 小学生と比べて、中学生は、同じ時間に規則正しく就寝したり起床したりする割合が低くなることが主な要因です。									

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	17.2	17.2	18.1	18	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい) 目標達成度 (高)
	(状況) 平成31年度は18.1%で、平成30年度及び後期基準値より0.9ポイント増加しています。 (原因) 学校給食実施基準の一部改正(平成30年8月1日施行)に基づき献立を見直す等栄養価の充足率改善に取り組んだ結果、必要な栄養素を確保するため、野菜類を増量しましたが、野菜を多く使用したメニューの残食率が高いことから、野菜類を好まない児童生徒が多いことが要因と考えられます。									

基本事業04 教育相談体制の充実

指標④	不登校出現率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	1.81	2.27	2.4	1.3	
評価	全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい) 目標達成度 (低)
	(状況) 平成31年度は2.4%で、平成30年度より0.13ポイント、後期基準値より0.59ポイント増加しています。 (原因) 各学校におけるきめ細かい対応とスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーとの連携による取り組みにより一定の効果は認められています。しかし、不登校の要因は学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡みあっており、不登校解消への支援に時間を要することが、要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
評価	<p>(状況) 平成31年度は19.8%で、平成30年度より14.7ポイント、後期基準値より15.2ポイント減少しております。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携による取り組みなどを積極的に行っていますが、不登校者が増加していることや、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合い、支援に時間を要していることが要因の1つと考えられます。</p>								<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
評価	<p>(状況) 平成31年度も0件です。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行った結果と考えられます。</p>								<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標②	学校施設の改修棟数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い						
評価	<p>目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)</p> <p>(状況) 平成31年度は、東豊中学校のエレベータ1棟の改修を実施し、累計8棟の改修が終了しています。 (原因) 教育環境の充実のため、必要となる改修を計画的に実施していることが要因です。</p>								<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
評価	<p>(状況) 平成31年度は7人で、平成30年度より3人、後期基準値より38人減少しています。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により情報共有等素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動が学校独自の取組や地域住民の協力による安全安心な環境づくりが行われていることが数値を低い水準に抑えられている要因の1つと考えられます。</p>								<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(高)</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

指標 ①	新たな時代への教育取組推進数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
		代替	業務取得	その他	教育総務課	件	6	8	9	8
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)									---
	<p>(状況) 平成31年度は9件で、平成30年度より1件、後期基準値より3件増加し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成31年度は、学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進事業、小学校理科支援事業、学習個別支援事業及び特別支援教育支援事業、心のケアハウス運営事業、志教育支援事業等の取組を実施していることが要因です。</p>									目標 達成度

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①				%	-	66	65.2	→	☀ (横ばい)
	生涯学習課 平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	(状況) 平成31年度は65.2%で、平成30年度より0.8ポイント減少し、平成27年度の64.5%より0.7ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 健康・スポーツや芸術(音楽や美術など)の活動をしている人の割合がそれぞれ30%を超えていることが高水準の維持に繋がっている要因と考えられます。								目標 達成度

指標	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
②				%	-	28.5	30.9	→	☀ (横ばい)
	生涯学習課 平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	(状況) 平成31年度は30.9%で、平成30年度より2.4ポイント、平成27年度の30.2%より0.7ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 年齢を問わず、生涯学習で身に付けた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないことなどが要因と考えられます。								目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実
基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進
基本事業 03 芸術文化の振興
基本事業 04 生涯学習施設の運営
基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標①	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	講座/年	77	293	307	90
評価	<p>(状況) 平成31年度は307講座で、平成30年度より14講座、後期基準値より230講座増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館において、多くの講座等を開催していることが大きな要因です。</p>								☀ (向上)
									☀ (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標②	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	7,254	16,099	20,051	7,600
評価	<p>(状況) 平成31年度は20,051人で、平成30年度より3,952人、後期基準値より12,797人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館での講座等の開催数の増加に伴い、参加者が大きく増加しています。市民ニーズに合致している講座等を開催したことが要因と考えられます。</p>								☀ (向上)
									☀ (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標③	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	48.1	45.8	→
評価	<p>平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。 (状況) 平成31年度は45.8%で、平成30年度より2.3ポイント減少していますが、平成27年度の43.7%より2.1ポイント増加しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 講座・教室数が増えていることのほか、パソコンやスマートフォンの普及により学習手段の拡充が図られていることが要因の1つと考えられます。</p>								☀ (横ばい)
									☀ (高)

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	団体	184	211	205	200
評価	<p>(状況) 平成31年度は205団体で、平成30年度より6団体減少していますが、後期基準値より21団体増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 後期基準値である平成26年度のみ190団体を割り込みましたが、平成27年度以降は200団体強で推移しています。高齢化等に伴う解散や合併がある一方、毎年、5~15団体ほどの新規登録があることが要因と考えられます。</p>								☀ (向上)
									☀ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標 ②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,679	5,390	3,900
評 価	(状況) 平成31年度は5,390人で、平成30年度より289人減少していますが、後期基準値より1,786人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成27年度以降、サークル登録団体数が200団体強で推移していることが要因と考えられます。								

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	132,834	107,531	85,000
評 価	(状況) 平成31年度は107,531人で、平成30年度より25,303人減少しましたが、後期基準値より30,719人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 演奏会や演劇の鑑賞者数が増加していることが要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、イベントの中止や約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。								

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ②	芸術文化鑑賞をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	61.1	54.2	→
評 価	平成27年度から取得を開始した指標です。 (状況) 平成31年度は54.2%で、平成30年度より6.9ポイント、平成27年度の55.6%より1.4ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、初年度である平成27年度との比較においては、統計誤差の範囲です。 (原因) 平成30年度は東北歴史博物館において「東大寺と東北へ復興を支えた人々の祈り」が開催されたこともあって60%を超えており、他の年度においても55%前後を推移している状態にあります。芸術文化に関する施設やイベントが多数あり、芸術文化に触れる機会が多いことが要因と考えられます。								

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標 ①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	344,113	298,583	355,000
評 価	(状況) 平成31年度は298,583人で、平成30年度より45,530人減少していますが、後期基準値より38,116人増加しています。 (原因) 市民会館における芸術文化の鑑賞者数が大きく増加していることが大きな要因です。なお、平成30年度より減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、イベントの中止や約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	1	0
評価	(状況) 平成31年度は1件で、平成30年度及び後期基準値より1件増加しています。 (原因) 令和元年台風第19号の影響で10月12日及び13日に発生した豪雨により市立図書館のキッズスペースに浸水被害が発生し、同スペースを閉鎖したことが要因です。								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標①	市立図書館の市民利用率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	16.5	14.5	50
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値 (状況) 平成31年度は14.5%で、平成30年度より2.0ポイント減少しましたが、後期基準値より4.5ポイント増加しています。 (原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。なお、平成30年度より減少したことについては、令和元年台風第19号によるキッズスペースの閉鎖や新型コロナウイルス感染症への対応として約1か月間の臨時休館があったことが主な要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標②	市立図書館の登録者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	78,929	84,785	40,000
評価	(状況) 平成31年度は84,785人で、平成30年度より5,856人、後期基準値より59,950人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市立図書館は、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大により、市内外を問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。平成31年度については、児童・生徒・一般・団体等の中で、一般層が平成30年度より5,351人増加しています。								(向上) 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標③	市立図書館の利用者満足度			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	-	80.3	76.5	→
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月) (状況) 平成31年度は76.5%で、平成30年度より3.8ポイント、平成28年度の80.6%より4.1ポイント減少していますが、利用者アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 令和元年9月に実施した利用者アンケートにおいて、「大いに満足」及び「満足」の合計は76.5%であり、高い満足度を保っています。働く世代の利用率が高く、「駅前にある」「365日開館している」「開館時間が長い」が魅力として挙げられており、これらが高い満足度が保たれている要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき 目標 達成度 ■ (高)
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	39.5	38.9	
評価	<p>(状況) 平成31年度は38.9%で、平成30年度より0.6ポイント減少し、後期基準値より2.4ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) スポーツ施設の適正な管理運営及び年間通じてのスポーツ大会や教室の開催といった安定した環境と機会を提供できていることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) ■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
評価	<p>(状況) 平成31年度は169回で、平成30年度より10回、後期基準値より82回増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、年間を通じて様々な教室や大会を開催しており、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業が平成30年度より増加していることが要因です。</p>									
						<p>(回/年)</p>				

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課						
評価	<p>(状況) 平成31年度は18.2%で、平成30年度より3.8ポイント、平成27年度の16.4%より1.8ポイント増加しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 平成30年度と比較してスポーツ教室・大会件数は増加しており、市民のスポーツをする機会が増えたことが要因と考えられます。</p>									
						<p>(%)</p>				

基本事業01 スポーツ機会の充実

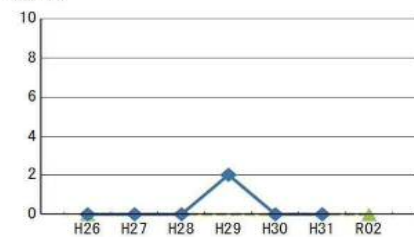
指標③	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
評価	<p>(状況) 平成31年度は3,499人で、平成30年度より57人、後期基準値より399人減少しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあり、地域のスポーツ団体に所属せずにスポーツをする人が増えていることが要因と考えられます。</p>									
						<p>(人)</p>				

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
評価	<p>(状況) 平成31年度は296,806人で、平成30年度より42,150人、後期基準値より25,432人減少しています。 (原因) 平成28年度をピークに減少傾向にありますが、大きなスポーツイベント等の実施の有無のほか、屋外スポーツ施設等の利用者数の減少が主な要因です。なお、平成30年度より大幅に減少したことについては、新型コロナウイルス感染症への対応として、各施設等に約1か月間の臨時休館があったことが主な要因です。</p>									
						<p>(人/年)</p>				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標 ②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	0	0
評 価	(状況) 平成31年度は0件で、後期目標を達成しています。 (原因) 施設の老朽化や設備の経年劣化による設備修繕は生じてい ますが、施設等の管理・運営に支障が生じないよう迅速に対応してい ることが要因と考えられます。			(件/年) 					

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	52.3	51.8	
評価	(状況) 平成31年度は51.8%で、平成30年度より0.5ポイント減少していますが、後期基準値より5.0ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベントが行われたこと、平成31年度に南門復元事業に本格着手し、広報誌等で事業を周知したこと等が要因と考えられます。								(横ばい)
									目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進

基本事業 02 文化財の積極的な活用促進

基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	文化財保護法により適正に保護された件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	208	188	—
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	<p>(状況) 平成31年度は188件で、平成30年度より20件減少していますが、後期基準値より13件増加しています。 (原因) 住宅建築や宅地造成などの需要に伴い増減します。平成27年度以降、周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数について、後期基準値と比較すると高い水準で推移しており、住宅需要を反映していることが要因と考えられます。</p>			(件/年)	175	208	188	—	—

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標②	特別史跡の公有化率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	58.9	59.6	60
評価	<p>(状況) 平成31年度は59.6%で、平成30年度より0.7ポイント、後期基準値より2.9ポイント増加していますが、横ばいです。 (原因) 特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。</p>			(%)	56.7	58.9	59.6	60	☀️ (横ばい)
									■ ■ ■ (高)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標①	活用されている文化財の面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	287,842	307,308	307,308	303,000
評価	<p>(状況) 平成31年度は307,308m²で、平成30年度と同値で、後期基準値より19,466m²増加と順調であり、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度からの中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。</p>			(m ²)	287,842	307,308	307,308	303,000	☀️ (向上)
									■ ■ ■ (達成)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標②	市内所在の文化財訪問者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	147,652	135,009	140,000
評価	<p>(状況) 平成31年度は135,009人で、平成30年度より12,643人減少していますが、後期基準値よりは2,978人増加しています。 (原因) 多賀城跡あやめまつりの入込数が、長雨による天候不順により減少したことが要因と考えられます。</p>			(人/年)	132,031	147,652	135,009	140,000	☀️ (横ばい)
									■ ■ ■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ①	市内所在文化財の平均認知項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.38	7.34	→
評 価	<p>(状況) 平成31年度は7.34項目で、平成30年度より0.04項目減少していますが、後期基準値より1.34項目増加しており、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で、多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の認知度がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>			<p>(項目)</p>					(横ばい)
				目 標 達 成 度 (高)					

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ②	市内所在文化財の平均訪問項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	6.05	5.61	→
評 価	<p>(状況) 平成31年度は5.61項目で、平成30年度より0.44項目減少したものの、後期基準値より1.41項目増加しており、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベント会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の訪問者数がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>			<p>(項目)</p>					(横ばい)
				目 標 達 成 度 (高)					

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ③	市内文化財への情報アクセス数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	189,087	295,845	120,000
評 価	<p>(状況) 平成31年度は295,845件で、平成30年度より106,758件、後期基準値より179,845件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市ホームページでの文化財情報のアクセス数が順調に増加していることに加えて、観光協会ホームページでの文化財情報のアクセス数が大幅に増加したことなどが要因です。</p>			<p>(件/年)</p>					(向上)
				目 標 達 成 度 (達成)					

政策4

環境を大切にすることを育むまち

＜環境分野＞

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 01 環境との共生

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	市民、事業者、行政が地球環境に優しい取組を行い、市内の自然環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	52	59.7	55.6	→
評価	(状況) 平成31年度は55.6%で、平成30年度より4.1ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 主要項目のうち「ごみの減量・分別・適正処理・リサイクルを行っている」「不要な包装を断っている」「節水をしている」の割合が60%を超えており、浸透していると考えられますが、「冷暖房の温度設定」「エコ製品・省エネ製品の購入」については60%未満となっており、実績値が伸びない要因と考えられます。								目標 達成度
					III (高)				

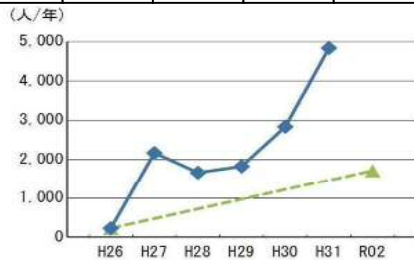
指標 ②	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	77.7	77.6	79.7	→
評価	(状況) 平成31年度は79.7%で、平成30年度より2.1ポイント増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 史跡を含む里山的環境や水田などが多く存在していることが、高い割合を示している要因と考えられます。								目標 達成度
					☀ (達成)				

□基本事業の成果状況と評価

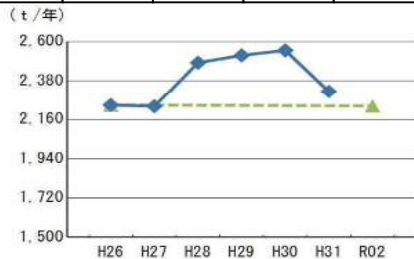
基本事業 01 環境教育の推進

基本事業 02 行政における環境保全の取組推進

基本事業01 環境教育の推進

指標 ①	市が開催した地球温暖化防止に向けた取組や環境事業の参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	人/年	231	2,834	4,837	1,715
評価	(状況) 平成31年度は4,837人で、平成30年度より2,003人増加し、後期基準値及び後期目標値ともに大きく上回っています。平成31年度の内訳としては、出前講座受講者数1,556人、環境講座2,300人、子どもエコレポートの回収数459人、環境副読本の配布数522人でした。 (原因) 文化センターで環境講座を開催し、多くの市民に参加いただいたことや、環境出前講座では放課後児童クラブと連携し、定期的に参加したことが要因と考えられます。								

基本事業02 行政における環境保全の取組推進

指標 ①	市役所及び出先機関の温室効果ガス排出量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	t/年	2,240	2,551	2,319	2,235
評価	平成28年度桜木保育所・新図書館追加、平成31年度笠神保育所対象外 (状況) 平成31年度は2,319tで、平成30年度より232t減少したものの、後期基準値より79t増加しています。 (原因) 平成28年度に新設された施設からの排出量が大きく影響していることが要因です。笠神保育所の民営化や新型コロナウイルス感染症の影響による公共施設の休館に伴い、平成30年度に比べると減少しています。								

政策 04 環境を大切に作る心を育むまち

施策 02 生活環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	快適な生活環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	快適な生活環境になっていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき 目標 達成度 (横ばい) (達成)
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	58.2	64.2	61.1	
評価	<p>(状況) 平成31年度は61.1%で、平成30年度より3.1ポイント減少していますが、後期基準値より2.9ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 騒音、犬猫の管理、ごみ集積所の管理等の改善についての要望が多く見受けられますが、マナー啓発の呼びかけ等により、全ての内容で改善要望は減少傾向にあります。</p>								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害等の抑制

基本事業 02 水質環境の向上

基本事業 03 空き地・空き家対策の推進

基本事業01 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課						
					件/年	115	64	67	91	
評価	<p>(状況) 平成31年度は67件で、平成30年度より3件増えたものの、後期基準値より48件減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 例年同様に、空地や隣家の樹木・雑草繁茂に対する要望が53件あり多数を占めていますが、管理者や土地所有者等に対し、繰り返し適正な管理を求め続けていることが全体的な減少傾向の要因と考えられます。</p>								(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事業01 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課						
					件/年	36	26	24	23	
評価	<p>(状況) 平成31年度は24件で、平成30年度より2件、後期基準値より12件減少しており、順調です。 (原因) 事業所に対し、適正な操業と敷地等の管理を要請してきたことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (高)	

基本事業02 水質環境の向上

指標①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課						
					%	98.9	99	99	→	
評価	<p>(状況) 平成31年度は99.0%で、平成30年度と同様であり、後期基準値より0.1ポイント増加し、順調です。 (原因) 毎月、市と県で砂押川3か所と貞山運河1か所の4か所で4検体ずつ(年間192項目)調査しました。震災後は、津波により一時的に河川の水質が悪化したものの、時間の経過等に伴い水質悪化を招く要素が改善されたことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業02 水質環境の向上

指標②	生活排水人口処理率(水洗化率) (浄化槽+公共下水道)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課						
					%	98.4	98.8	98.9	98.5	
評価	<p>(状況) 平成31年度は98.9%で、平成30年度より0.1ポイント増加し、後期基準値より0.5ポイント増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市内の污水管渠整備は概成していることから、大幅なポイント増加ではないものの、平成31年度に施工された開発行為の完成により水洗化世帯が増加したこと及び1世帯が公共下水道への水洗化切替を実施したことが要因です。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 空き地・空き家対策の推進

指標 ①	適正に管理されていない空き家の件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件	—	—	—	➡
評価	(状況)平成29年度に策定した「空家等対策計画」に基づき、空家等対策を推進しています。民間事業者と協働で空き家冊子を発行し、庁舎及び公共施設の窓口への設置、空き家所有者への送付等により、空き家の適正管理についての啓発を行っています。空き家の譲渡所得の特例措置に関する被相続人居住用家屋等確認書の発行は7件でした。			(件) 					目標 達成度

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 03 資源循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	ごみの減量と再資源化が進み、ごみ処理が適正に行われています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
				kg/年	51	50	50	48	☀ (横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は50kgで、後期基準値より1kg減少していますが、平成30年度と同数となっています。 (原因) 粗大ごみが増加しているものの、可燃ごみが減少しています。環境出前講座や広報多賀城による啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識向上が醸成されてきたことが要因と考えられます。								目標 達成度
									■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみ排出量の減量

基本事業 02 再資源化の推進

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	kg/年	199	186	185	196	(横ばい)	
評価	生活環境課			(状況) 平成31年度は185kgで、平成30年度より1kg、後期基準値より14kg減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) ごみ減量指導員による集積所での分別指導や環境出前講座、広報多賀城等での啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識が向上してきたことが要因と考えられます。						目標 達成度
					(達成)					

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標②	事業系ごみの年間排出量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	t/年	6,044	6,289	6,059	5,510	(横ばい)	
評価	生活環境課			(状況) 平成31年度は6,059tで、平成30年度より230t減少していますが、後期基準値より15t増加しています。 (原因) 震災後、復興に伴う事業活動の活発化による事業系一般廃棄物が継続的に増加しているものの、ごみ減量指導員による事業所訪問指導の効果があらわれていることが、要因と考えられます。						目標 達成度
					(低)					

基本事業02 再資源化の推進

指標①	資源化量・資源回収量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	t/年	6,409	5,541	5,546	7,483	(横ばい)	
評価	生活環境課			(状況) 平成31年度は5,546tで、平成30年度より5t増加していますが、後期基準値より863t減少しています。 (原因) 家庭から排出される資源物の収集量、店頭回収及び許可業者等による独自ルートでの資源化量及び集団資源回収量はいずれも減少傾向にあります。個人売買等のリサイクルツールの多様化、情報ツールの普及に伴うペーパーレス化、製造業者等による過剰包装削減や容器包装の簡素化等、複合的な要因によるものと考えられます。						目標 達成度
					(低)					

基本事業02 再資源化の推進

指標②	リサイクル率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	%	25.4	22.8	22.7	29	(横ばい)	
評価	生活環境課			(状況) 平成31年度は22.7%で、平成30年度より0.1ポイント、後期基準値より2.7ポイント減少しています。 (原因) 新聞・雑誌等のペーパーレス化、過剰包装の削減や容器包装の簡素化等による資源回収量の減少が、要因の1つと考えられます。						目標 達成度
					(低)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 再資源化の推進

指標 ③	プラスチック容器包装不適合率（分別不適合率）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	%	14.9	16.3	15.7	14
評価	<p>(状況) 平成31年度は15.7%で、平成30年度より0.6ポイント減少していますが、後期基準値より0.8ポイント増加しています。 (原因) 震災後、一時的に悪化したものの、環境出前講座やごみ減量指導員によるごみ集積所での立会い指導等により、分別等の適正排出を周知徹底したことで、現在は震災前と同程度の数値まで下がってきていますが、適切な分別の徹底がされていないことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業02 再資源化の推進

指標 ④	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	76.7	79.7	77.2	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は77.2%で、平成30年度より2.5ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 出前講座や広報多賀城等での分別・リサイクルの啓発が高い水準を維持している主な要因であると考えられます。その他スーパー等で実施している食品トレー等の店頭回収の浸透、民間事業者等が提供するインセンティブ付きのリサイクルツールを利用している市民の増加が考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (高)